

# ゆるしについてのイエスの教え

📖1. 「あなたがたも聞いているとおり、『目には目を、歯には歯を』と命じられている。しかし、わたしは言うておく。悪人に手向かってはならない。だれかがあなたの右の頬を打つなら、左の頬をも向けなさい。あなたを訴えて下着を取ろうとする者には、上着をも取らせなさい。だれかが、一ミリオン行くように強いるなら、一緒に二ミリオン行きなさい。求める者には与えなさい。あなたから借りようとする者に、背を向けてはならない。」 「あなたがたも聞いているとおり、『隣人を愛し、敵を憎め』と命じられている。しかし、わたしは言うておく。敵を愛し、自分を迫害する者のために祈りなさい。あなたがたの天の父の子となるためである。父は悪人にも善人にも太陽を昇らせ、正しい者にも正しくない者にも雨を降らせてくださるからである。自分を愛してくれる人を愛したところで、あなたがたにどんな報いがあるのか。徴税人でも、同じことをしているではないか。自分の兄弟にだけ挨拶したところで、どんな優れたことをしたことになるのか。異邦人でさえ、同じことをしているではないか。だから、あなたがたの天の父が完全であられるように、あなたがたも完全な者となりなさい。」 マタ 5:39-48

◆ Walter Wink „Engaging the Power”

◆ 「悪人に手向かってはならない。」

ἐγὼ δὲ λέγω ὑμῖν μὴ ἀντιστηναὶ τῷ πονηρῷ·

αντιστηναὶ verb · anthistemi anth-is'-tay-mee: (同じような方法をもって) 抵抗する、反抗する、敵対する (例: 武力によって攻撃されたら、武力によって攻撃を返す)

📖3. 「だれに対しても悪に悪を返さず、すべての人の前で善を行うように心がけなさい。できれば、せめてあなたがたは、すべての人と平和に暮らしなさい。愛する人たち、自分で復讐せず、神の怒りに任せなさい。『復讐はわたしのすること、わたしが報復する』と主は言われる」と書いてあります。「あなたの敵が飢えていたら食べさせ、渴いていたら飲ませよ。そうすれば、燃える炭火を彼の頭に積むことになる。」悪に負けることなく、善をもって悪に勝ちなさい。」ロマ 12:17-21

◆ 「だれかがあなたの右の頬を打つなら、左の頬をも向けなさい。」

- イエスの教えと行いは、矛盾することはありませんので、イエスの教えを正しく理解するために、それをイエスの振る舞いによって照らす必要がある場合があります。

📖2. 「大祭司はイエスに弟子のことや教えについて尋ねた。イエスは答えられた。「わたしは、世に向かって公然と話した。わたしはいつも、ユダヤ人が皆集まる会堂や神殿の境内で教えた。ひそかに話したことは何もない。なぜ、わたしを尋問するのか。わたしが何を話したかは、それを聞いた人々に尋ねるがよい。その人々がわたしの話したことを知っている。」イエスがこう言われると、そばにいた下役の一人が、「大祭司に向かって、そんな返事のしかたがあるか」と言って、イエスを平手で打った。イエスは答えられた。「何か悪いことをわたしが言ったのなら、その悪いところを証明しなさい。正しいことを言ったのなら、なぜわたしを打つのか。」」ヨハ 18:19-23

- 「左の頬を向ける」とは、自分が見下されていい (不正に扱われていい) 存在ではなく、加害者と同じように尊敬すべき人間であることを示す行動です。

◆ 「あなたを訴えて下着を取ろうとする者には、上着をも取らせなさい。」

📖 「もし、隣人の上着を質にとる場合には、日没までに返さねばならない。なぜなら、それは彼の唯一の衣服、肌を覆う着物だからである。彼は何にくるまって寝ることができるだろうか。もし、彼がわたしに向かって叫ぶならば、わたしは聞く。わたしは憐れみ深いからである。」 出 22:25-26

📖 「上着を奪い取る者には、下着をも拒んではならない」。ルカ 6:29

- 「下着を取らせる」とは、加害者にその振る舞いの結果を現すことによって、恥をかかせて、考えさせる行動です。

◆ 「だれかが、一ミリオン行くように強いるなら、一緒に二ミリオン行きなさい。」

- 「一緒に二ミリオン行く」とは、加害者を困らせて、自分が無力な被害者ではないこと自分に残っている自由を示す行動です。

\*

- ◆ 加害者をゆるすことは、復讐や他の不正な行動を放棄することではありますが、それは決して不正や暴力、または他の悪に対して受身的な態度をとることとか、それを許可する（許す）ことではありません。
- ◆ イエス・キリストは、すべての人の罪やとがをゆるしても、全力を尽くしながらも、非暴力的で、正しい方法のみをもって悪と戦い、人が罪を犯さないように命をかけて努めていました。そして、同じことをするように弟子たちに教えました。